

令和5年度 総務部長マニフェスト(総括)

総務部長	長根 英俊
------	-------

【基本方針】

まちづくりの基本理念である「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈」の実現に向け、久慈市総合計画に掲げた事務事業の確実な進捗を図るため、職員一人ひとりの力を結集し組織として取り組んでいく必要があります。複雑多岐にわたる業務が増えていくなか、職員の能力を十分に発揮していくためには、仕事と休みとのメリハリの付けた生活が肝心であり、ワークライフバランスのとれる職場づくりに取り組みます。

また、近年多発してきている自然災害や、昨年県が公表した最大クラスの津波へ備えるため、自助・共助・公助を組み合わせて、万全を期していきます。

加えて、より一層の財源確保に努めます。

【重点目標】

1 業務改善とワークライフバランスの実現	達成状況	一部達成
-----------------------------	------	-------------

○内容

- 限られた職員で近年の複雑多岐にわたる行政需要に応じていくため、職員が能力を十分に発揮し対応していく必要があります。ワークライフバランスの実現が重要です。
- 総務部各課において、働き方改革・業務の効率化の観点から事務事業の改善を行います。
職員提案数5件
- 有給休暇の取得促進
休暇を有効に生かし、リフレッシュし仕事に臨むため
R4取得日数5日未満56人→10人以下
- 男性職員の育休取得率の向上
男性の育休取得率
現行 政府目標(2025年までに30%)
目標の引き上げ
先行的に 公務員 2025年 85%
↓
市職員 2023年 85%(1週間以上の取得)

●取組結果

- 総務部内各課の職員提案
4課5件の提案 ⇒ 達成
①議案等の配布方法の変更
②市長等の日程受付事務の電子化
③IN公売の落札決定後の事務の電子化
④GS表による施設管理
⑤災害時のLINEオープンチャットの活用
- 有給休暇の取得促進
R5年取得日数5日未満 35人 ⇒ 未達成
管理職5人 管理職以外30人
R4年より△21人、37.5%減
- 男性職員の育児休業取得 ⇒ 未達成
R5年度対象者 7人
1週間以上の取得者 4人 57%
(最短9日 最長3カ月半)

2 地域防災力の強化	達成状況	一部達成
-------------------	------	-------------

○内容

- 近年多発する豪雨災害、県が公表した最大クラスの津波浸水・被害想定への対応については、自助・共助・公助の取組を組み合わせ、災害からの犠牲者ゼロを目指します。そのため市民一人ひとりの防災力・防災意識を一層高め、地域防災力の強化を図ります。
- 自主防災組織の結成率100%を目指します
- 消防団員の確保
R5新規入団者20人(R4 15人)
消防団の役割・活躍をPRするとともに、入団相談会を開催。
- 防災士の養成
防災士養成講座の開催及び防災士ネットワーク構築。
- 津波避難訓練開催
R4参加者1,879人 → R5 2,500人以上
市内小中学校の児童・生徒を通して、保護者に子供の命を守るための避難訓練への参加を依頼。

●取組結果

- 自主防災組織(R6.3.11現在) ⇒ 未達成
団体数:59団体(前年度比+17団体)
結成率:74.0%(前年度比+10.0%)
- 消防団員(R6.3.11現在) ⇒ 達成
定員:860人
団員数:666人(充足率77.33%)
新入団員数:36人(うち新採用職員14人)
退団者数:19人
- 防災士(R6.3.11現在) ⇒ 一部未達成
開催日:令和5年11月25日~26日
受講者:50人
合格者:48人(市内151人)
- 津波避難訓練 ⇒ 未達成
開催日:令和5年11月12日(日)
参加者:2,043人(前年度比+164人・+8.73%)

3 持続可能な財政運営	達成状況	一部達成
--------------------	------	-------------

○内容

- 市税の適正な課税・収納を行い、自主財源の確保に努めるとともに、持続可能な財政運営とするため「選択と集中」「スクラップ&ビルド」を進めます。
- 市税(現年課税分たばこ税等除く)の収納率
市税滞納者に対し早期アクションを起こし、徴収体制の強化を図り、市税の収納率維持・向上を目指します。
R3 99.38%(県内4位)→ R5 99.38%以上
- 全ての事務・事業のゼロベースからの見直しを行い、今年度当初予算から一般財源△5,000万円
- 市債プライマリーバランスの黒字
起債残額の減少=一般財源の確保

●取組結果

- 市税収納率(2月末現在) ⇒ 達成見込み
R5年度 92.18% (目標 △7.20ポイント)
R4年度 92.18%
- 一般財源の縮減 ⇒ 未達成
対前年度 △43,098千円
- 市債プライマリーバランスの黒字 ⇒ 達成
R6年度
起債発行見込額 2,091,132千円
元金償還見込額 2,216,804千円
黒字額 125,672千円

令和5年度 総合政策部長マニフェスト(総括)

総合政策部長	下山 琢也
--------	-------

【基本方針】

総合政策部は、市の横断的な政策に係る企画立案・総合調整をはじめ、行財政改革・自治体DXの推進、地域づくり活動の支援、公共交通の確保、市政情報の発信などを主な業務としています。
 基本理念である「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈」の実現に向けて、総合計画の適正な進行管理を行うとともに、そのリーディングプロジェクトとして策定した総合戦略を推進することで少子化、人口減少の抑制に努め、将来にわたって子どもたちの笑顔が絶えないまちづくりに取り組みます。

【重点目標】

1 総合計画、総合戦略の推進	達成状況	未達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 総合計画の施策と指標、総合戦略の基本目標とKPI(重要業績評価指標)を基に進捗状況を把握し、総合計画に掲げる目標達成に向けて取り組みます。 ● 総合計画の35施策に係る市民満足度アンケートの平均満足度3.09を目指します。 ● 総合計画の140指標の進捗率90%を目指します。 ● 総合戦略の7つの基本目標、40のKPIの進捗率85%を目指します。 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市政戦略会議を開催し、令和5年度の各部の事業について、進行管理を行いました。 ● 市民満足度アンケートの平均満足度3.09を目標としていましたが、令和5年度は2.935(前年比△0.048)となり、目標達成には至りませんでした。 ● 総合計画140指標の進捗率90%を目標としていましたが、令和5年度は74%(前年比+5%)となり、進捗率は増加しましたが目標達成には至りませんでした。 ● 総合戦略の40指標の進捗率85%を目標値としていましたが、令和5年度は77%(前年比+17%)となり、進捗率は増加しましたが目標達成には至りませんでした。 	

2 行財政改革、ふるさと納税の推進	達成状況	一部達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 限られた財源を効率よく活用し、持続可能な行政運営を行うため、既存の事業の徹底した見直しを行うとともに、ふるさと納税を推進し、財源確保を図ります。 ● 事業の見直し(事業の統廃合等)による財源の確保2.5億円を目指します。 ● ふるさと納税寄付額4億円を目指します。 ● 自治体DX推進計画に掲げる各種目標の達成に努め、各目標・課題の達成目標20件を目指します。 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市政戦略会議事業検討会を実施し、各部の事業の見直しを図りました。 ● 事業の見直しによる財源の確保の目標値を2.5億円としていましたが、令和6年度予算に向けた財源の確保は約4.1億円となり、目標値を達成しました。 ● ふるさと納税寄付額の目標値を4億円としていましたが、令和5年度(2月末時点)は約2億9千万円(前年比+6千万円)と寄付額は増加しましたが、目標達成には至りませんでした。 ● 自治体DX推進計画に掲げる各種目標の達成目標を20件としていましたが、令和5年度は課題の抽出・解決方法の検討は19件となり、目標達成には至りませんでした。 	

3 地域力の向上、情報発信、移住定住の促進	達成状況	一部達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市民センターを拠点に、市民参加による地域づくり活動を支援します。また、移住定住を促進し、人口減少抑制の一助とします。 ● 「協働のまちづくり」の理解促進と地域が策定するアクションプランの策定支援を進めるため、地区単位の地域づくりワークショップ等を50回開催します。 ● 「自主防災組織」結成に係る取組支援回数270回を目指します。 ● 地域コミュニティ振興事業等の件数20件を目指します。 ● 市政情報を積極的に発信し、久慈市及びイベント等への興味・関心を高めるため、情報の発信件数450件を目指します。 ● 移住定住相談25人を目指します。 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市民センターを中心に、各地区で未来づくり事業に取り組み、地域活動を支援しました。 ● 地域づくりワークショップ等の開催目標を50回としていましたが、令和5年度は70回開催し、目標を達成しました。 ● 自主防災組織結成に係る取組支援回数目標を270回としていましたが、令和5年度は230回となり、一部地区では目標を達成しましたが、全体では目標達成には至りませんでした。 ● 地域コミュニティ振興事業等の目標件数を20件としていましたが、令和5年度は22件となり、目標を達成しました。 ● 市政情報の発信件数目標を450件としていましたが、令和5年度(2月末時点)で540件となり、目標を達成しました。 ● 移住定住相談件数の目標を25人としていましたが、令和5年度は191人となり、目標を達成しました。 	

4 公共交通の利用推進		達成 状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域住民の生活の足である路線バス、鉄道といった公共交通機関の維持・存続に向け、利用促進運動に取り組みます。 ● 公共交通利用促進事業の実施件数35件、参加人数500人を目指します。 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通機関(市民バス、路線バス、鉄道)の維持・存続に向け、事業者と連携して利用促進運動に取り組みました。 ● 公共交通利用促進事業の実施件数35件、参加人数500人を目標としていましたが、令和5年度は実施件数22件、参加人数679人となり、実施件数は目標達成に至りませんでした、参加人数は目標を達成しました。 		

<p>○内容</p>			

<p>○内容</p>			

<p>○内容</p>			

令和5年度 生活福祉部長マニフェスト(総括)

生活福祉部長 久松 希美子

【基本方針】

「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」「共に支え、元氣と安らぎあるまちづくり」のため、子育て環境や社会福祉の充実、市民の健康維持・向上、健康寿命の延伸に向けた取組の推進、各種相談支援体制の充実などに取り組みます。また、持続可能な循環型社会の構築に向け、環境問題に対する意識啓発に努めるとともに、ごみの減量化・資源化に取り組みます。

少子高齢化、人口減少が進んでいることから、各種施設や福祉サービスの在り方等について中長期的な視点で検討を進めます。

新型コロナウイルス感染症や各種疾病を予防するため、関係機関と連携し適切なワクチン接種に取り組みます。

【重点目標】

1 社会福祉の充実 達成状況 一部達成

<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自力で避難が困難な住民の不安を解消するため「避難行動要支援者支援事業」の周知に努め、要支援者の名簿登録率の向上に取り組みます。 (R4実績72.4%→R5目標74.0%) ■ 要支援者の個別避難計画策定支援に努めます。 (R4実績8.13%→R5目標30.0%) ■ 高齢者の孤立化を防ぎ、元気で生き生きと暮らせるよう、いきいき百歳体操やふれあいサロン、各種出前講座等を開催し、健康寿命の延伸、重度要介護認定率の減少を目指します。 • 重度要介護認定率 (R4実績6.73%→R5目標6.20%) • 通いの場等の新規開設数 (R5目標2団体) • 各種出前講座・講演会等の実施回数 (R4実績159回→R5目標160回) 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 避難行動要支援者支援事業について、各地区民生児童委員協議会での制度説明を行うとともに、該当世帯への働きかけを実施しました。令和6年2月末現在で73.9%となっています。 ■ 要支援者の個別避難計画の策定率は、令和6年2月末現在で13.9%となっています。 ■ 高齢者施策について、コロナ禍で縮小されていた集まり等の再開支援を行ったほか、認知症やフレイル予防等の各種出前講座・講演会を開催しました。 • 重度要介護認定率(R6.1月末) 6.56% • 通いの場等の新規開設数 2団体 (さつき会(中央)、こんぴらロード(源道)) • 各種出前講座・講演会の実施回数 168回
--	--

2 各種相談支援体制の充実 達成状況 一部達成

<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の整備に向け、関係各課等において協議を行い、重層的支援体制の構築を目指します。 (連携強化に向けた勉強会等の開催 R5目標3回) (重層的支援体制構築アドバイザーによる講義の開催 R5目標1回) ■ 消費トラブル等を未然に防ぐため、出前講座の開催、広報等を活用した情報提供、注意喚起、相談先の周知等に努めます。 (出前講座の開催 R5目標3回以上) 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 重層的支援体制の構築については、連携強化に向けた担当者レベルでの勉強会を3回、アドバイザーによる講義を1回行いました。関係各所との顔が見える体制はできてきていますが、今後も更なる検討が必要です。 ■ 複雑多様化する詐欺被害や消費トラブルの未然防止のための注意喚起や、相談窓口の周知等に取り組みました。 • 広報等への記事掲載、センターだより発行 6回 • 出前講座の開催 5回 • 防災行政無線での特殊詐欺に係る注意喚起 2回
---	---

3 子育て環境の充実 達成状況 一部達成

<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実や教育・保育施設の適切な運営・管理など、安心して子育てができる環境の整備に努めます。 ■ 子どもの医療費助成について、対象を高校生まで拡大したことから、適正な給付に努めると共に、現物給付の実施に向け関係機関との調整に努めます。 ■ 「子ども第三の居場所」について、令和6年度から運用開始できるよう、関係機関と連携し整備促進に努めます。 ■ 子育て支援情報誌や子育て支援センターだよりを発行し、子育ての窓口やサービス等地域資源の周知を図ります。また、子育て支援に関する情報発信ツールとして導入した子育て応援アプリ「くじこぶり」の利用者数増に努めます。 (累計ユーザー数 R4実績348人→R5目標450人) 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 出産・子育て応援交付金の適正給付を行うとともに、育児への不安解消に資するため、通所型産後ケア事業の充実を図りました。 • 産後ケア事業利用者数 R6.2月末現在 訪問51人、通所32人 ■ 子どもの医療費について、令和5年4月から所得制限の撤廃対象を3歳未満から未就学児まで拡大したほか、高校生等までは所得制限を行いながら医療費の全額助成を開始しました。さらに同年8月からは現物給付を実施しました。 ■ 「子ども第三の居場所」については、年度内に整備完了見込みであり、令和6年度からの供用開始に向け準備を進めています。 ■ 子育てに関する情報提供について、「くじこぶり」のユーザー数の増を図ったほか、情報発信方法の見直しを行いました。 • ユーザー数 R6.2月末現在420人 ■ 物価高騰対策として、子育て世帯生活支援特別給付金等の支給にも鋭意取り組んでいます。
---	--

4 環境対策の推進	達成 状況	一部達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ごみの分別・資源化に関する周知啓発を行い、市民一人当たりのごみ排出量の抑制に努めます。(R4排出量362.8kg→R5排出量352.6kg(2.9%減)) ■ 環境問題への関心を高めるため、環境学習会や出前講座を実施するほか、各種媒体を活用し意識醸成に努めます。(学習会・出前講座の開催 R5目標2回以上) ■ 自治会等所有の防犯灯について、LED化に係る市からの補助金嵩上げの情報提供を行い、LED化を促進します。(R5目標 LED化100灯) 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ごみの適正排出に関する啓発を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> • 広報掲載 8回 • 出前講座 4回 65人 • 排出量 R6.2月末現在 354.3kg ■ 環境学習講座等を開催し意識啓発を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> • 学習会等 2回 (環境学習講座1回 親子38人、産業まつり分別チャレンジ等来場者 552人) ■ 自治会等所有の防犯灯のLED化を促進しました。 <ul style="list-style-type: none"> • R5年度LED化 実施分172灯 • R6.2月末現在 LED化率 75.9% 	

○内容	
○内容	

5 保健活動の充実	達成 状況	一部達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各種健康診査や各種がん検診等の受診率の向上を図り、疾病の早期発見、早期治療につなげます。(国保特定健診受診率 R4:41.9%→R5:47.5%)(後期高齢健診受診率 R4:25.5%→R5:26.5%) ■ 生活習慣病の予防など、健康づくりの知識の普及を図ります。(講演会の開催 R5目標:1回以上) ■ 新型コロナワクチンやHPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン等、各種予防接種について、関係機関と連携し適切な体制の整備及び接種勧奨に努めます。 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国保特定健診受診率は40.7%、後期高齢者健診受診率は26.4%であり、目標には達しませんでした。 ■ 関係機関と連携し「減塩フェスタ」を開催し、生活習慣病予防と日頃からの健康づくりに関する意識啓発を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> • R5.8.20開催 参加人数553人 ■ 医師会及び医療機関と連携し、適切な予防接種機会の確保と助成等に取り組みました。 	

○内容	
○内容	

令和5年度 産業経済部長マニフェスト(総括)

産業経済部長

谷崎 勉

【基本方針】

農林水産業は高齢化と担い手不足が進行しており、担い手の確保・育成に向けて、関係機関等との連携によって新規就業への誘導に努めます。

久慈市の魅力発信と交流人口の拡大に向けては、三陸沿岸道路の開通効果を最大限発揮すべく、新山根温泉べっぴんの湯の宿泊再開、道の駅いわて北三陸のオープン、「あまちゃん」放送10周年の関連イベントの開催、各種観光イベントや体験型観光の情報発信の強化に取り組むとともに、秋まつりなどの各種観光イベントについても、新型コロナウイルスの感染状況を適切に判断しながら、地域経済の活力再生に取り組めます。

また、地域経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を長期に渡って受け続けており、各種支援策の周知と丁寧な対応によって各種支援制度の活用を促すとともに、商工業の振興を図るため、市街地への新規出店に対する支援及び既存企業の持続的発展への支援に努めます。

【重点目標】

1 農林水産業の担い手確保と基盤強化

達成
状況

一部達成

○内容

- 農業の振興を図るため、県・農協等の関係団体と連携し、就業相談会や作業体験、PR冊子等の配布を行い、新規就業者の育成・確保を目指します。(新規就業者8人、多面的機能支払交付金活用地区10地区)
- 木の仕事協議会等と連携し、林業の新規従事への誘導に努めるとともに、健全な市有林育成及び私有林の管理を促すため、計画的な施業及び補助を行います。(新規就業者3人、施業面積59ha、森林整備支援4件)
- 久慈市就業者育成協議会等と連携し、水産業の新規従事への誘導に努めるとともに、地域水産業の担い手を育成するための取組を進めます。(新規就業者3人、いわて水産アカデミー入講内定者1人)

●取組結果

■ 農業

月1回開催する就業相談会に参加し、関係機関と連携した支援等により、担い手の確保に努めました。
【新規就業者は、2月末日現在で10人】

多面的機能支払交付金の活用については、関係機関と連携した支援により、制度利用の研修会を開催しながら、活動面積の維持を図りました。

【活用地区は10地区を維持した】

■ 林業

「久慈地方木の仕事協議会」が実施する担い手育成活動への支援により、担い手の育成・確保に取り組むとともに、市有林の計画的な施業(地拵え、植付、下刈り、間伐)を行いました。

【新規就業者は、2月末日現在で4人】

【施業面積は、2月末日現在で約62ha】

【森林整備支援は2月末日現在で3件】

■ 水産業

新規漁業就業の確保に向けて、就業意向調査の取組を継続するとともに、定置組織を対象とした研修制度等の勉強会を開催し、担い手の育成強化に努めました。

【新規就業者は、2月末日現在で0人】

【いわて水産アカデミー入講内定者は、0人の見込】

2 魅力発信と交流人口の拡大

達成
状況

一部達成

○内容

- 道の駅「いわて北三陸」をゲートウェイとした交流人口の拡大による地域経済の活性化に取り組めます。(施設利用者293千人)
- 白樺、琥珀、海女といった地域資源及び久慈秋まつりなどの各種イベントの情報発信により集客の増加に努めます。(市内主要観光施設(6施設)入込数130万人)
- ひと・もの・こと地域資源を最大限活用し、教育旅行等の体験型観光を推進し、利用客の増加を目指します。(体験型観光受入延べ人数4,000人(ふるさと体験学習協会受入))
- 首都圏でのシティプロモーション強化の拠点である「おかえり館」を積極的に活用し、イベント開催等によって当市の魅力発信に努めます。(イベント開催10回)

●取組結果

■ 道の駅「いわて北三陸」及び観光誘客

新聞、テレビ、ラジオ等によるイベント情報の発信に努めながら、集客拡大を図っています。特に、あまちゃん放送10年記念事業に関連して、イベント等を積極的にPRしました。

①道の駅いわて北三陸

【施設利用者は、2月末日現在で273千人】

②市内主要観光施設(6施設)の入込数

【市内6施設の入込数は、3月末で91万人の見込み】

■ コロナ禍で減少した交流人口の回復を図るため、関係団体と共に積極的な営業に努めました。体験者数は昨年からの回復し、目標を上回る事ができました。

【体験型観光受入延べ人数は、2月末日現在で4,105人】

■ 「おかえり館」及び運営事業者のネットワークを活用したイベントに積極的に参加し、シティプロモーション及び地場産品のPRなど、市の魅力発信に努めました。

【イベント実施数は11回】

3 商工業の振興と中心市街地の活性化

達成
状況

一部達成

○内容

- 長引くコロナ禍で苦境に直面する商工業者等の経営を支えるべく、適時適切に支援策を講じ、早期回復に取り組めます。
- 中心市街地の活性化に向けて、空き店舗の有効活用を促すことで、商店街に不足している業種の確保、若者が集える場の創造に努めます。(空き店舗活用出店数3件)
- 中心市街地活性化の核施設である土風館とYOMUNOSU並びに道の駅「いわて北三陸」の周遊を促進し、市内の賑わいを創出するための各種イベントの開催を支援します。(10事業)

●取組結果

■ 資金借入に係る利子及び保証料の補給を継続したほか、停滞する地域経済の消費喚起として、プレミアム付商品券の発行など、適時適切な事業を展開しました。

■ 中心市街地への出店を促進するため、空き店舗出店費補助により、店舗改装に係る費用の一部を支援しています。

【空き店舗活用出店数は、2月末日時点で2件】

■ 各種団体が企画する各種イベントを資金面及び体制面で支援し、中心市街地の賑わいの創出に努めました。

【周遊促進イベントへの支援件数は11事業・15回】

令和5年度 企業立地港湾部長マニフェスト(総括)

企業立地港湾部長 大崎 健司

【基本方針】

人口減少や少子高齢化という厳しい状況に立ち向かい、いつまでも住み続けたいと思うまちづくりを進めるため、市政が持続的な発展を続けるよう、市内経済の活性化及び産業振興に取り組みます。

企業誘致及び既存企業の増設などの促進による雇用機会の創出を図るとともに、学校、企業及び行政が一体となってキャリア教育の充実を図ることで、若い世代が地元で「就職し、定着したい」と思えるような雇用環境づくりを進めます。

脱炭素社会の構築を目指し、久慈地域エネルギー(株)と連携し、地域に裨益するエネルギーの地産地消に取り組むとともに、市内公共施設及び民間事業所への再エネ導入促進及び久慈市沖洋上風力発電事業の事業化に向け取り組みます。

市民の生命と財産を守る久慈港湾口防波堤について、2033(令和15)年度に完成されるよう要望活動を行うとともに、久慈港長期構想策定による長期的な視点による空間利用が見込まれるよう、国・県とともに取り組みます。

【重点目標】

1 若者定着を促進するための魅力ある産業のまちづくりの推進	達成状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地元企業と連携し、学校・企業・行政が一体となって「地域ぐるみ」によるキャリア教育事業を推進します。 ● 教育担当者・事業所担当者研修会(7月)、合同職業講演会「キャリアオーケストラ」(10月)、合同職業体験「社会体験Week」(11月)を関連付けて一連の流れとして実施。 ■ 市内企業が学生の就職動向などを把握できるよう、情報共有会を開催し、必要に応じて大学等就職担当者の助言を受け、個別企業の採用活動に寄り添い伴走型支援を行い、Kターン就職及び採用後の定着を促進するなど、魅力ある企業づくりに取り組みます。 ● 「久慈管内新規高卒者の管内就職率」の向上(R4実績40.2%→R5目標44.8%) ● 大卒人材等確保に向けた情報共有会開催(3回) ● アドバイザー派遣(延べ50時間) 		<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業所、学校の協力のもと、県と連携し、担当者研修会(8月)、合同職業講演会(10月)及び合同社会体験(11月)を切れ目なく円滑に行いました。事業総括はキャリア教育推進連携シンポジウム(2月)で、事業を体験した中学生の事例発表を取り入れるなど、効果的に実施できました。 ■ 市内企業の採用活動強化のため情報共有会を3回開催し、市内企業と連携し、Kターン雇用の拡大のため、大学及び専門学校就職担当者訪問を実施しました。 ● 「久慈管内新規高卒者の管内就職率」の向上(R5目標44.8%→R5実績見込45.9%) ● 大卒人材等確保に向けた情報共有会開催(実施回数3回) ● アドバイザー派遣(延べ73.5時間)

2 雇用の場の確保に向けた企業誘致等の推進	達成状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 企業誘致や新增設の支援、既立地企業のフォローアップによる雇用環境の向上に努め、岩手県及び岩手県土地開発公社と連携を図り、久慈地区拠点工業団地に企業集積が進むよう取り組みます。また、RE100宣言企業及び再生可能エネルギー関連事業者等が市内への事業進出意欲が高まるよう、企業訪問及び情報交換に努め、新たな産業用地選定に取り組みます。 ● 起業・立地奨励補助金活用件数(R4実績1件→R5目標1件) ● 産業用地適地調査報告書作成 		<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 久慈地区拠点工業団地の全工場用地(8.8ha)は、既立地企業の増設及び新規立地企業による用地取得計画が進捗し、今後の分譲可能面積はC地区1.3haのみとなっており、新たな産業用地を確保するために適地調査を実施しました。 ● 起業・立地奨励補助金活用件数(R5目標1件→R5実績1件) ● 調査報告書作成済

3 再生可能エネルギーの導入促進	達成状況	一部達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 脱炭素社会の実現及び再エネ導入促進による地域経済への波及効果に資するため、市が出資する久慈地域エネルギー(株)と連携し、エネルギーの地産地消を推進します。本年度から5年間山形町で実施する脱炭素先行地域関連事業について、理解醸成を図り地域の再エネ化が促進されるよう住民の理解醸成に努めます。 ● 脱炭素先行地域説明会(山形町8地区) ■ 久慈市沖洋上風力発電事業が2030年に事業化されることを目指し、国・県及び発電事業者及びステークホルダー等関係者との情報交換及び協議に努めます。また、環境省委託事業による「令和5年度浮体式洋上風力発電による脱炭素化ビジネス促進事業」を活用し、久慈市沖基礎調査の継続と発電事業者による民間共同風況調査が円滑に進むよう取り組みます。 ● 久慈市沖浮体式洋上風力発電検討委員会開催(3回) ■ 陸域における再エネ導入促進エリアを設定するためのゾーニング調査及び追加的な環境調査を実施し、ゾーニング案等をもとに地域住民等との合意形成を図りながらゾーニングマップを完成させます。 ● 久慈市陸域再生可能エネルギーゾーニング協議会(3回) ● 陸域再エネゾーニング報告書作成 		<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 山形町内の脱炭素化に向けて山形町で説明会を開催し、自家消費型太陽光発電設備及び蓄電池の設置の理解醸成を図るため、地域説明会を予定通り実施しましたが、補助金活用件数は低調でした。 ● 脱炭素先行地域事業説明会(8回開催) ■ 洋上風力発電事業について、環境省委託事業である「浮体式洋上風力発電による脱炭素化ビジネス促進事業」の調査業務及び漁業者への理解醸成のための説明会を開催し、「久慈市沖浮体式洋上風力発電検討委員会」での検討を踏まえ、調査等の成果を報告書にまとめました。 ● 浮体式洋上風力発電検討委員会開催(3回) ■ 陸域再エネゾーニングマップについて、「久慈市陸域再エネゾーニング協議会」の検討を踏まえ、地域と共生する再エネ事業を促進するためのエリア調整となる報告書を作成しました。 ● 陸域再生可能エネルギーゾーニング協議会(3回)

4 久慈港の整備促進	達成 状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国の直轄事業により整備が進められている久慈港湾口防波堤(全体延長3,800m、令和15年度完成予定)の整備が着実に進むよう、関係省庁への要望活動を行います。 • 国に対する要望活動(2回) • 久慈港湾口防波堤整備延長(R4実績2,856m→R5目標2,916m) ■ 重要港湾久慈港が久慈市沖洋上風力発電の拠点港湾として基地港湾に指定されるよう、今後20年から30年程度の長期的視点で空間利用を検討するとともに、産業集積が図られるよう関係機関及び関連事業者等との協議に取り組みます。 • 岩手県による久慈港長期構想策定 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国等関係機関への要望活動は、当初計画のとおり2回実施したところであり、引き続き、令和15年度の完成に向けて関係者と連携し要望を継続します。 ■ 久慈港湾口防波堤の整備延長は、沖合の悪天候の影響などにより、ケーソン2函の据付工事は1函が据付され、ケーソン製作は計画通りに進められました。 • 久慈港湾口防波堤整備延長 (R5目標2,916m→R5実績2,886m) ■ 久慈港長期構想検討委員会は、構想策定期を久慈市沖洋上風力発電事業の進捗状況と歩調を合わせて進めることとし、令和6年度に策定することとされました。 • 久慈港長期構想策定期 (R5年度→R6年度) 	

<p>○内容</p>		

<p>○内容</p>		

<p>○内容</p>		

令和5年度 建設部長マニフェスト(総括)

建設部長	大澤 匡弘
------	-------

【基本方針】

「災害につよいまちづくり」「市民が安全・安心に暮らせるまちづくり」を基本方針に、道路や橋梁、公園等の社会インフラの計画的な維持管理、そして市政発展の基盤となる社会インフラの整備や広域幹線道路等の要望活動等を実施します。

また、久慈川水系の流域治水プロジェクトに基づき、県営事業である小屋畑川河川改修事業の促進に向け関係機関と協働で取り組むとともに、市道や普通河川等の浸水対策に取り組めます。

【重点目標】

1 安全で快適な市民生活を確保する社会インフラの維持管理

達成状況	一部達成
------	------

○内容

■ 持続可能な社会インフラを目指し、適切かつ計画的な維持管理の実施と地域住民との協働による維持補修を行います。

- ① 橋梁(78橋)の点検を計画的に実施するほか、修繕が必要な橋梁(15橋)の調査・詳細設計を実施します。
- ② 老朽化した橋梁(4橋)、公園施設(2施設)の補修等に計画的に取り組めます。
- ③ 地域の課題である市道等及び小水路について、市民協働道路等維持補修事業により、市内10箇所を整備・補修を実施します。
- ④ 「久慈市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、新川井団地10棟の改修工事に必要な設計を行います。

●取組結果

- 修繕等が必要な15橋梁の補修設計を実施したほか、62橋の道路橋定期点検を実施中です。(R6年度へ一部繰越)
- 老朽化した橋梁4橋(久慈橋、中の橋、宇津目跨線橋、新街橋)の補修等の工事を実施中です。(R6年度へ一部繰越)
- 老朽化した諏訪公園展望台の撤去を実施したほか、老朽化した遊具の更新を実施予定です。(R6年度へ一部繰越)
- 市民協働道路等維持補修事業は、当初予算分10件と9月補正予算分5件、計15件について採択し、すべて完了しました。
- 新川井団地改修工事の設計については、業務が完了しました。

2 市民が安心して暮らせる防災対策の推進

達成状況	一部達成
------	------

○内容

■ 豪雨災害による被災箇所の早期復旧を目指すとともに、自然災害の予防、浸水対策及び法面崩落対策などの防災対策に取り組めます。

- ① 道路法面や道路施設の予防保全対策(3路線)に取り組めます。
- ② 令和4年8月豪雨により被災した土木施設及び都市施設の年度内完成(補助19件、単独54件)を目指します。
- ③ 豪雨時に生じる道路冠水等(6路線、1河川)の解消に取り組めます。
- ④ 準用河川及び普通河川の堆積土砂撤去を行い、河川の治水能力の確保(4河川)に取り組めます。
- ⑤ 小屋畑川の河川改修事業(県事業)の促進が図られるよう、道路・橋梁等の市管理施設に係る各種協議の他、地域住民との合意形成に鋭意協力します。
- ⑥ 災害の防止、円滑な交通の確保、良好な景観の形成を図るため、無電柱化(1路線)に取り組めます。
- ⑦ 民間木造住宅の耐震診断(5戸)の実施と、耐震改修工事(1戸)への補助を行います。

●取組結果

- 予防保全対策として、1路線(久喜漁港線)の道路法面对策を実施したほか、道路施設の補修を2路線(地下道東口線、大崎本通り線)実施しました。
- 令和4年8月豪雨被害を受けた土木施設及び都市施設の補助災害復旧工事はすべて完了しました。単独工事につきましては、一部繰越し、復旧に向けて引き続き取り組めます。(R6年度へ一部繰越)
- 道路冠水対策として、6路線(久慈港19号線、沢山通り線、川貫2号線、二子小袖沢線、大川目線、中の橋栄町線)と1河川(白山川)の整備を実施しました。(R6年度へ一部繰越)
- 河川の治水能力確保の取り組みとして、準用河川及び普通河川(6河川 ※)において、堆積土砂撤去工事を実施中です。
※ 準用河川田面川、普通河川沢里沢川、普通河川川貫川、普通河川西ノ沢川、普通河川高田川、普通河川滝ノ沢下川
- 小屋畑川広域河川改修事業に係る各種協議は遅滞なく進んでおり、市道付替工事に係る費用負担協定を締結しました。事業の進捗状況につきましては、用地買収や測量設計等が実施され、12月に一部工事が着手されたところです。今後、進捗状況に応じた地元説明会等を開催しながら、地域住民との合意形成に引き続き協力していきます。
- 無電柱化について、久慈駅東口線電線共同溝工事を実施中です。(R6年度へ一部繰越)
- 建築物の耐震化を促進するため、民間木造住宅の耐震診断5戸を実施しました。耐震改修工事への補助は、応募がありませんでした。

3 安全・安心で住みよいまちづくりの推進	達成 状況	一部達成
<p>○内容</p> <p>■ 元気と安らぎにあふれる街並みの環境整備を推進し、通学児童などの歩行者通行の安全性を確保するとともに、交通の円滑化を図るため、歩行環境等の整備に取り組みます。</p> <p>① 通学児童等の安全確保のため、関係機関と安全点検を実施し、危険個所の把握に努めます。</p> <p>② 安全な歩行空間の確保のため、歩道(4路線)や区画線等(2路線)の整備に取り組みます。</p> <p>③ 未改良、幅員狭小、急カーブ、急勾配の解消(4路線)に取り組みます。</p> <p>④ 小屋畑川の河川改修事業(県事業)に関連し、小屋畑川沿いのまちづくりについて検討します。</p>	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、5月に交通安全施設等総点検を実施したほか、11月に通学路安全推進会議で対策が必要な箇所の検討を行いました。 歩道設置工事を2路線(中の橋栄町線、上長内日吉町線)実施中のほか、安全対策が必要な2路線(山岸線、日吉町宇部線)の設計を実施しました。(R6年度へ一部繰越) 安全な歩行空間の暫定対策として、グリーンベルトを3路線(小久慈線、上長内長内橋線、野中線)実施したほか、市内各所の区画線設置を行いました。 交通危険箇所の解消4路線(深田線、平庭線、来内線、外川井線)の整備を実施中です。(R6年度へ一部繰越) 小屋畑川沿いのまちづくりの前段として、県や関係町内会の代表者等と意見交換を行いました。引き続き、まちづくりの意識醸成に取り組みます。 	

4 多様化する市民ニーズと地域振興へ繋がる社会インフラの充実	達成 状況	達成
<p>○内容</p> <p>■ 久慈港の利用促進や新たな企業立地に繋がる広域幹線道路等の要望活動を行い、早期完成・事業促進に向けて取り組みます。</p> <p>① 国道281号(案内～戸呂町口間)の改良整備の促進や、「岩手県新広域道路交通計画」において、将来の高規格道路としての役割が期待されている構想路線「(仮称)久慈内陸道路」の早期実現に向けて要望活動を行います。</p> <p>② 令和3年度に全線開通した三陸沿岸道路のさらなる利活用等について、関係機関と連携し、要望活動を行います。</p> <p>③ その他路線や河川についても、平常時・災害時の別を問わない安全で安心な道路網の整備や治水等に向けた要望活動を行います。</p>	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道281号の抜本的な改良整備及び「(仮称)久慈内陸道路」の早期実現について、県への重点事項要望のほか、機会を捉えて期成同盟会としても久慈湾総合開発促進協議会との合同により国等に要望を行いました。今年度、案内～戸呂町口間のトンネル整備が一部工事に着手され、新たに大川目町生出町地区の歩道整備も事業化されました。 三陸沿岸道路の整備効果等について沿線市町村と情報共有し広域連携を図るとともに、利活用等を推進するため「北リアスみちづくり女性の会」と意見交換を行い、道路への意識醸成を図りました。また、期成同盟会を通じて、機能強化等の要望を行いました。 安全で円滑な道路網の整備等に向け、国道45号及び主要地方道久慈岩泉線の改良整備について、期成同盟会等による要望を行いました。また、県管理河川における築堤整備や河道掘削等の適正な維持管理について、要望を行いました。 	

令和5年度 山形総合支所長マニフェスト(総括)

山形総合支所長	下斗米 洋之
---------	--------

【基本方針】

地域づくり活動の推進について、山形町の維持・発展のため、住民自らが取り組む地域づくり活動を支援します。

短角牛の振興については、生産者と関係機関が一体となり、安心・安全・ヘルシーな赤身肉であることを広く情報発信し、増頭対策及び販売拡大に取り組みます。また、市指定無形民俗文化財である「牛の角突き」の継承に努めるとともに、観光資源としての闘牛を更に発展させていきます。

観光の振興については、平庭高原、内間木などの観光資源を活用したイベントを開催し、誘客と地域の活性化に取り組みます。特に日本一の白樺美林を有する平庭高原の環境整備を行い、白樺林の維持・再生に積極的に取り組みます。

さらに、郷土料理「まめぶ」の国の無形民俗文化財登録に向け、地域の皆さんと共に様々な事業を実施します。

【重点目標】

1 山形町の未来づくり計画「やまがたビジョン」の協議・実践に向けた委員会の開催	達成状況	達成
---	------	----

<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 昨年度策定した山形町の未来づくり計画「やまがたビジョン」の協議・実践など、20年後の山形町の望ましい将来像を目指すためのアクション(行動)へと進めるための委員会を開催します。 • 「SNSの活用」、「久慈溪流の景観活用」、「支え合い(見守り)体制づくり」、「子育てしやすい環境づくり」への取り組みの推進 (R5目標5回) 【コロナ影響】 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 山形町の未来づくり計画「やまがたビジョン」の協議・実践のため、「SNSの活用」、「久慈溪流の景観活用」、「支え合い(見守り)体制づくり」、「子育てしやすい環境づくり」の4グループに分かれワークショップを開催し、山形町の目指すべき将来像を実現するための行動を進めています。 • 令和5年度において推進委員会を5回開催し、各ワーキングチームで提案型の提言を取りまとめ、「山形町地域振興策に係る提言」により、地域と行政との協働について提案が行われました。 • 協議・実践として、「SNSの活用」においては、ワーキングチームが主体となり平庭高原において写真撮影会を開催し、その成果をSNSに掲げました。また、「久慈溪流の景観活用」チームにおいては、旧道を散策しながらゴミ拾い等を行い、ドローンを活用し久慈溪流の紅葉を撮影し、「SNS活用」チームとの協力体制を模索しました。「支え合い(見守り)体制づくり」チームにおいては、個人情報保護の関係もあり難しい取り組みもある中、継続的な議論を重ねていくこととしました。「子育てしやすい環境づくり」チームにおいては、子育て世帯のニーズを捉え、3歳未満児の保育、学童保育の必要性を議論したところです。その結果、本年1月から「放課後の子供の居場所づくり事業」が実施され、令和6年度から、川井児童館において、保育対象年齢を満1歳半からに拡充される予定であり、山形
---	--

町における子育て支援環境が着実に前進しています。

2 市民団体が行う地域づくり活動に対する情報及び補助金の支援	達成状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地元愛の醸成及び山形町における地域振興・文化継承・環境保全・人材育成等を図ることを目的に、主体的に取り組む地域や団体に対して助成事業の紹介及び相談、支援を行うとともに、活用を促し地域づくり活動を支援します。 • 地域コミュニティ振興事業 (R5目標10件、補助額10,000千円) 【コロナ影響】 • 地域づくりに係る支援事業の紹介及び支援 (R5目標3件) 【コロナ影響】 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域づくり活動を支援し、地域振興を図ることを目標とする地域コミュニティ振興事業においては、14件の団体が事業展開を図り、補助額は9,660千円、執行率97%の状況となりました。 • 地域づくりに係る支援事業の紹介・相談等については、自主防災組織の結成に向け相談・支援を継続して行いました。 	

3 山形総合支所の移転に向けた取組の推進	達成状況	一部達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 山形総合支所の移転について、手法や問題把握のための「移転対策会議作業部会」の開催や、移転への理解を深めてもらうため、行政連絡区長等との「あり方検討会」、また、全庁的な「支所移転対策会議」を開催します。 • 山形総合支所移転対策会議作業部会の開催 (R5目標3回) • 山形総合支所のあり方検討会の開催 (R5目標3回) 【コロナ影響】 • 山形総合支所移転対策会議の開催 (R5目標2回) • 来庁者の実態調査(各窓口にて実施、通年) 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 令和5年度7月21日、11月28日、3月8日に山形総合支所移転対策作業部会を開催し、移転に伴う各課の課題の洗い出しやおらほ一への一括移転を前提とし、事務室の配置案や改築について検討を重ねました。 • また、関係各課の課長等の出席のもと、6月28日に支所移転対策会議を、11月16日には山形地区の公共施設のあり方に係る情報交換会を開催し、支所移転に伴う問題点や山形小学校の改築、山形図書館等のあり方などについて情報交換を行いました。 • また、当初、各自治会長等による「あり方検討会」を開催することにしていたが、各自治会長、有識者等から個別に意見を聴取しました。総合支所移転については、一定の理解をいただいたと思っています。 • 本年度実施した来庁者の実態調査では、2月末時点で1カ月あたり 362人の来庁者がありました。 	

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標

4 山形村短角牛振興と闘牛文化の発展継承、及びまめぶ食文化遺産登録	達成 状況	達成
<p>○内容</p> <p>■ 安全安心な山形村短角牛の生産振興と積極的なPRを行い、販路開拓と消費拡大に努めるとともに、「生産者と消費者の顔の見える関係」の構築維持のため消費者等との交流事業を行います。また、闘牛大会の開催による集客と更なる知名度の向上、闘牛文化の継承活動に取り組みます。さらに、郷土料理「まめぶ」の国の無形民俗文化財登録に向けた事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ベゴツアー参加者(R5目標45人)【コロナ影響】 盛岡や八戸、及び首都圏(ホテルニューオータニ)での短角牛消費拡大イベント開催によるPR(R5目標 盛岡200人、八戸100人、首都圏50人)【コロナ影響】 闘牛大会の開催(R5目標 4場所開催、年間来場者3,500人)わかば場所(5月)300人、つつじ場所(6月)1,000人、しらかば場所(9月)1,000人、もみじ場所(10月)1,200人【コロナ影響】 山形町郷土食保存継承の会とともに各種事業を展開(R5目標 未来継承講座80人、郷土食フェスタ200人)【コロナ影響】 短角牛生産基盤の強化、及びエリート牧場の草地更新(R5 草地更新10ha) 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ベゴツアーは首都圏の消費者42名の参加により、4年ぶりにリアル開催し、40回目の記念すべき交流となりました。 短角牛消費拡大イベントについては、盛岡市で3回の出展を通じ約400人の来場者にPRを行いました。首都圏ではアンテナショップ等で短角牛製品のPRを行ったほか、東京都のホテルニューオータニとの連携により「いわて牛・いわて短角牛肉フェア」を開催し、9月15日から10月15日の1か月間、当地の短角牛を通常メニューにて提供していただきました。八戸市ではいわて山形村短角牛でナイトin八戸を開催し、イベントの周知に努め定員を超える120名の皆様にご来場いただきました。 闘牛大会は全4場所を開催し、年間来場者数は3,600人と多くの皆様からご来場いただき、闘牛文化の発信を行いました。 郷土料理「まめぶ」については、山形町郷土食保存継承の会と連携し、幼児から大人まで幅広い世代を対象に未来継承講座を実施しました。また、まめぶ展・郷土食フェスタを食文化ミュージアムとなっているおらぼーるで11月12日に開催し、山形町7地区のまめぶを約200人の来場者が味わい、まめぶの国の無形民俗文化財への登録に向け機運を高めました。 短角牛生産基盤の強化について、エリート牧場の草地更新は、上牧区の測量設計を実施したほか、下牧区11.15haの草地更新を実施しました。 	

5 平庭高原の環境整備と日本一の白樺美林の再生	達成 状況	達成
<p>○内容</p> <p>■ 平庭高原環境整備ボランティア「くじ☆ラボ」の活動支援やイベントを開催し、平庭高原の白樺美林整備促進による適正な環境保全と観光客の誘客に繋がる活動に取り組みます。また、中長期的な白樺林の再生の取り組みとして、令和3年度から、現況調査及び技術指針の策定に着手しており、令和5年度に完成させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> くじ☆ラボ延べ参加者(R5目標230人)【コロナ影響】 白樺林の下草刈り(R5目標2回)【コロナ影響】 白樺の植樹(R5目標200本)【コロナ影響】 レンゲツツジの植樹(R5目標164本)【コロナ影響】 白樺林再生に係る現況調査及び技術指針の策定及び管理計画の策定、白樺再生協議会の設立 セイコーウオッチなどの民間企業との連携を図り、日本一の白樺美林の環境保全への取組 国道沿いの白樺危険木の除去及び景観整備の取組 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> くじ☆ラボは、市民や市内外の民間企業からご支援をいただきながら全3回開催し、年間延べ参加者数は443人となりました。白樺林の下草刈りを7月、11月の2回実施し、8月には白樺245本、レンゲツツジ179本の植樹を行い、日本一の白樺美林の環境保全に取り組みました。 白樺再生については、昨年度設置した伐採更新試験地における樹木の更新状況等の調査を行うとともに、これまでの調査・研究結果を踏まえ、白樺林再生のための技術指針を策定したところであり、事業成果については、3月22日に事業報告会を開催します。 今後の具体的な森林更新の計画となる「管理計画」策定の中心的役割を担う「白樺林再生協議会(仮)」の設立総会を、3月22日の事業報告会終了後に開催します。 セイコーウオッチ様や明治安田生命様、市内企業等の支援を賜り、環境保全活動に共に取り組みました。特に、セイコーウオッチ様では30名の参加により、企業独自の植樹活動に取組みいただきました。 平庭高原エリアの腐朽した危険木の除去を行い、危険排除と景観整備に取り組みました。 	

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標

令和5年度 会計管理者マニフェスト(総括)

会計管理者	畠山 健治
-------	-------

【基本方針】

会計課は、現金・有価証券・物品の出納及び保管、支出負担行為に関する確認、決算の調製などを主な業務としています。
久慈市の健全な行財政運営に資するため、会計事務の適正な執行に努めるとともに、公金の適正管理と確実な運用を行います。

【重点目標】

1 会計事務の適正な執行	達成状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 会計書類の迅速かつ的確な審査と迅速な支払いを行うため、会計事務に関する留意事項等を職員に周知するとともに、不備のある書類については、随時、審査票や直接指導をし、事務の効率化を図ります。 • 会計事務に関する庁内掲示板での周知を10回以上行います。 • 例月現金出納検査における特記事項0件を目指します。 		<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 会計書類の不備を減らし、又、迅速な支払いにつなげるため、会計書類の作成・提出の際の注意点などについて、庁内掲示板で周知するとともに、審査票や直接指導により、事務の効率化に努めました。 • 会計事務の留意事項に関し、庁内掲示板による周知は、3月14日現在で15回行いました。 • 例月現金出納検査における特記事項は、4月から2月実施分までにおいて、0件です。

2 公金の適正管理と確実な運用	達成状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 支払準備金に不足が生じないよう、常に収入支出見込額を把握し、必要に応じて関係課と連携しながら繰替運用などの対応を行うとともに、厳しい財政状況の中、運用資金は限られませんが、確実な方法による資金運用を行います。また、公金を取り扱う金融機関の検査を計画的に行います。 • 指定金融機関及び収納代理金融機関の検査を各行1回実施します。 • 収納事務受託者の検査を3団体以上実施します。 		<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 12月までは支払準備金が不足する心配はなく、一部を大口定期預金として運用するなど、公金の適正管理と運用に努めました。一方、1月以降は例年支払準備金が減少してくるため、基金の繰替運用を行い円滑な支払いに努めました。 ■ 指定金融機関などの検査の実施状況は次のとおりです。 • 指定金融機関及び収納代理金融機関の検査は、12月中に全ての金融機関(10機関)を実施済みです。 • 収納事務受託者の検査は、10月までに今年度予定していた3者を実施済みです。

3 人材育成と超過勤務の縮減(ワーク・ライフ・バランス)	達成状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 会計課職員に必要な知識や事務能力の向上のため、外部研修への参加やOJTを通じた人材育成に取り組みます。また、ワーク・ライフ・バランスの取れた職場環境を目指し、執務体制を工夫しながら、超過勤務の縮減に努めます。 • 岩手県都市会計協議会が主催する職員研修会に職員を派遣します。【コロナ影響】 • 課内の超過勤務時間を前年度比で10%削減することを目指します。【コロナ影響】(超過勤務時間の推移 R4:1,039h、R3:775h、R2:1,640h) 		<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 岩手県都市会計協議会主催の職員研修会は、5年ぶりに対面で開催されました。13市持ち回り開催のところ今年度は久慈市が当番市であり、準備に苦労しましたが、これまでの座学中心から情報交換を中心とする研修会にしたことで、各市の取り組み状況を詳しく知ることができ、当市の事務改善につなげることができました(4名参加)。 • 日常業務を通じたOJTにより、会計課職員の知識や事務能力の向上に努めました。 • 課内の超過勤務時間数は、2月末現在、前年度比57%減(911h→385h)となっています。

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標

令和5年度 上下水道部長マニフェスト(総括)

上下水道部長	田面 巧
--------	------

【基本方針】

上下水道部では、「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」に向けて、市民の生命・財産を守るため、大雨による浸水対策として、雨水排水ポンプ場の整備を推進します。また、水道水の安心・安全な安定供給を行うため、水道本管の更新や施設の維持管理に取り組みます。加えて、下水道の管路整備と、住宅等の下水接続補助を拡充するなど、水洗化率の向上を図り、生活環境の改善と、水環境の水質保全に取り組みます。

なお、上水道事業、下水道事業ともに、人口減少による収入減少や、施設更新費等が課題であることから、長期的な収支計画のもと、持続可能な経営に努めます。

【重点目標】

1 浸水対策の推進	達成状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 近年、頻発・激甚化する大雨の内水(浸水)対策として、新井田・十八日町・田高地区の雨水排水ポンプ場の整備を進めます。新井田地区は令和5年12月、十八日町・田高地区は令和6年3月の完成を目指します。 ・ 新井田地区 : 電気設備(据付)工事の施工 外構工事の施工 試運転調整の実施 ・ 十八日町地区: 機械設備(据付)工事の施工 電気設備(据付)工事の施工 外構工事の発注 試運転調整の実施 ・ 田高地区 : 土木工事の施工 機械設備(据付)工事の施工 電気設備(据付)工事の施工 外構工事の発注 試運転調整の実施 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新井田地区につきましては、令和5年7月に運用開始、令和5年11月に最後の外構工事を終えてポンプ場が完成しました。 ・ 十八日町地区につきましては、令和5年12月に機械設備工事、電気設備工事を終え、運用開始しました。現在施工中の外構工事を令和6年3月に終えて完成する見込みです。 ・ 田高地区につきましては、令和5年11月に土木工事が完成しました。残る機械設備工事、電気設備工事、外構工事を令和6年3月に終えて完成する見込みです。 	

2 安定した給水体制の確保	達成状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 災害に強い水道網を構築するため、耐震性が低く老朽化した夏井地区等の配水管(塩化ビニル管)について、1.5kmの管路更新工事(高密度ポリエチレン管)を実施します。 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年3月に夏井地区等(夏井、黒沼)の配水管1.5kmの更新工事が完了しました。 ・ 同様に、令和5年6月に、漏水が集中していた小袖地区の塩化ビニル管の更新工事、0.14kmを発注し、10月に完了しました。 	

3 汚水処理施設の整備	達成状況	一部達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、長内町地区の汚水管渠について、900mの敷設工事を実施します。 ■ 浄化槽設置整備事業では、60基の浄化槽の設置に対して、補助を実施します。また、新規事業として既存住宅の宅内配管等に係る嵩上げ補助24件を実施します。 ■ 公共下水道の接続率向上のために、公共下水道水洗化促進事業について、国庫補助事業を活用した継続事業54件(供用開始3年以内)に加え、新規事業として55件(供用開始3年経過)の補助を実施します。 ■ 漁業集落排水の接続率向上のために、漁業集落排水処理施設水洗化促進事業について、新規事業として30件の補助を実施します。 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長内町地区の汚水管渠につきましては、約300mの敷設工事が令和6年3月に完了する見込みです。残り600mにつきましては、現場が近接しており、一般交通の混雑や施工中の事故を避けるため、来年度に発注する計画に変更します。 ・ 浄化槽設置整備事業につきましては、3月末までに32基(うち嵩上げ補助13件)の浄化槽設置に対して補助金を交付する見込みです。 ・ 公共下水道水洗化促進事業につきましては、3月末までに国庫補助対象8件(供用開始3年以内)、単独費34件(供用開始3年経過)の接続に対して補助金を交付する見込みです。 ・ 漁業集落排水処理施設水洗化促進事業につきましては、3月末までに5件の接続に対して補助金を交付する見込みです。 	

4 公営企業の効率的な運営		達成 状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地方公営企業である上下水道事業について、それぞれの経営戦略に沿って健全で持続可能な経営を行います。 • 水道メーター検針の省力化・自動化の検証のため、スマートメーターを9基導入し、水道メーターボックスの異なる環境ごとの効果と課題を洗い出し、費用対効果を算定します。 • 令和4年度に下水道事業経営戦略を改定したところですが、水道事業においても、健全で持続可能な、質の高い経営を進めるための、水道事業の経営戦略改定に向けて、総務省の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用します。 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 環境の異なる9カ所の水道メーターボックスにスマートメーターを設置し、その効果と課題の検証を行いました。見つかった効果として、検針困難箇所の検針負担が軽減される反面、費用が大幅に増加する点、現場で電波機器の再調整や、検針票を検針時の各戸配布作業から、郵送作業に変更するなど、経費や事務処理負担が増加する等の課題もありました。これらの課題について対応を検討しながら、来年度以降の展開に活用していきます。 • 総務省の「経営・財務マネジメント強化事業」につきましては、6月から4回にわたり、アドバイザーによる水道事業の経営分析を基にした助言を受け、経営改善に向けた短期・中長期的な方針を部内で検討し、その結果を市財政部局と共有しました。事業の成果は、健全で持続可能な、質の高い経営を進めるための経営戦略の改定に向けて、基幹となる各種計画の見直しや業務改善に反映していきます。 		

<p>○内容</p>			

<p>○内容</p>			

<p>○内容</p>			

令和5年度 教育部長マニフェスト(総括)

教育部長 笹原 賢二

【基本方針】

教育理念である「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈 ～総合力豊かな人材を育てるまちづくり～」の実現に向けて、学校教育及び生涯学習の充実を推進するとともに、生涯スポーツの振興に取り組みます。

また、第1期久慈市教育振興基本計画に基づき、中期的かつ総合的な展望を持ち、教育行政を計画的・体系的に進めていきます。

【重点目標】

1 学校教育の充実

達成状況 一部達成

○内容

- 小中学生の学力向上のため、指導主事の訪問や各種研修会の充実により、各学校の授業の改善を行います。CRT(教研式標準学力検査)による「学習状況が良好な児童生徒の割合」を小学生は86.0%以上、中学生は69.0%以上を目標とします。
- ICTを活用した学習活動の充実に向けた支援を行います。
 - ・ 児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合90.0%以上を目標とします。
- 児童生徒が快適で、安心・安全な学校生活を送れるよう、学校施設の整備に努めます。
- ・ 久慈湊小学校移転改築事業を推進します。(造成工事等)
- 小中学校の適正配置について、「小中学校の適正配置に関する基本方針」に基づき、後期計画の説明を行います。
- ・ 対象となる保護者及び地域住民に、1学区あたり3回以上説明会を実施します。
- 通学路の安全確保のため、通学路交通安全プログラムに基づき通学路の合同点検を実施し、安全対策を実施します。
- ・ 注意喚起のため、2箇所に看板を設置します。

●取組結果

- 小中学生のCRTによる「学習状況が良好な児童生徒の割合」は、小学生が83.3%で目標を下回り、中学生が71.7%で目標を上回る結果となりました。
- ICTを活用した学習活動の充実に向けた支援については、ICT支援員による訪問支援や校内研修支援を実施するとともに、タブレット端末活用研修会を6回実施しました。また、教育研究所を通して、「Microsoft Teams」を活用した教員相互の主体的な実践交流ができる仕組みを整えたことにより、オンライン授業交流などの多様な実践を広めることができました。(児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合については、実績値がまだ出ていません。)
- 久慈湊小学校移転改築事業について、用地取得、建築に係る基本設計・実施設計及び造成工事に係る契約が完了しました。
- 小中学校の適正配置については、1学区あたり説明会を4回(5地区)【4月、7月、1月、3月】行い、目標を達成しました。
- 通学路の注意喚起のための看板を、3月に設置しました。
- ・ 設置数2基(小久慈地区、湊地区)

2 生涯学習の充実

達成状況 一部達成

○内容

- 子どもから高齢者までの多種多様な学習意欲を支援するため、求めているものの把握を行い、その学習機会の提供に努めます。
- ・ 「琥珀のまち生涯学習ボランティアバンク」及び「まちづくり直送便」による講師派遣、出前講座の実施回数80回、利用者数2,000人を目標とします。
- 利用しやすい図書館を目指すため、様々なニーズを持つ利用者に配慮するとともに、青少年の読書活動の推進に取り組めます。
- ・ 子どもたちの健やかな成長を支援するための講演会やワークショップを3回以上実施します。
- 市民1人当たりの図書貸出数5冊を目標とします。
- アンバーホール開館25周年記念事業等を実施し、芸術文化への関心を高めます。
- ・ 自主事業来場者数 平均7割以上を目標とします。
- 久慈市の文化財の保護及び伝統芸能の継承等を行うことにより文化遺産を後世に伝える取り組みを行います。
- ・ 新たな取り組みを1回以上行います。

●取組結果

- 「生涯学習ボランティアバンク」等の出前講座を実施しました。2月末現在で実施回数74回、利用者数1,792人で目標値を下回りましたが、3月末までに利用予定の団体もあり、今後増加が見込まれます。また、昨年度同期と比較し、実施回数・利用者数ともに約9%の増となり、主体的な学びの場が着実に増えています。
- ・ ボランティアバンク 56回 利用者数1,247人
- ・ まちづくり直送便 18回 利用者数 545人
- ・ 合計実施回 74回(達成率92.5%)
- ・ 合計利用者数 1,792人(達成率89.6%)
- 子ども達の読書活動を推進するため講演会を1回、ワークショップを3回実施し目標を達成しました。この他に、久慈市立図書館(指定管理者)の企画事業を数多く実施しています。
- ・ 新図書館開館3周年事業講演会及びワークショップ、手作り絵本教室、星空観察会
- 図書の貸出冊数は、2月末現在3.9冊と目標値には届きませんでした。貸出冊数は昨年と同数です。
- アンバーホール自主事業について、開館25周年事業として永峰館長監修の「音楽の贈り物」シリーズをはじめ、ファミリー向け公演や演劇、フルートコンサートなど多様な鑑賞機会を提供し芸術文化の振興に努めました。
- ・ 4公演の平均来場者数は69.8%で、目標をほぼ達成しました。昨年度実績も大きく上回りました。
- 文化財の保護・活用等については、歴史民俗資料室を予約なしで見学できる「特別公開」を今年度初めて行い、期間中は久慈城跡のパネル展も併せて開催しました。
- ・ 特別公開 8月1日～6日(来場者51人)

3 生涯スポーツの振興		達成 状況	達成
<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生涯スポーツの充実のため、市民誰もが主体的、継続的にスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりのできる環境の整備に努めます。 • テレビ放送10周年記念大会となる「久慈あまちゃんマラソン大会」を開催し、当市の魅力を発信します。参加人数については1,200人を目標とします。 ■ 「柔道のまちづくりの推進」のため、三船久蔵十段生誕の地である「柔道のまち久慈」の今後の目指すべき将来ビジョンについて検討を行います。 • 関係機関と3回以上情報交換を行います。 	<p>●取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「久慈あまちゃんマラソン大会」については、新型コロナウイルス感染症による制限を設けない大会を4年ぶりに開催できました。参加申込者数は1,243人であり、目標を上回りました。 ■ 「柔道のまちづくりの推進」について、関係者（柔道協会員、市内高校柔道部員、三船記念館道場生父母の会、体育協会）と2回ワークショップ形式で話し合いを行いました。現在は、話し合いの結果を整理し、柔道のまちづくりビジョン案を作成中です。3月にはビジョン案に対する意見交換を市柔道協会と実施しました。 		

<p>○内容</p>			

<p>○内容</p>			

<p>○内容</p>			